

地域や社会生活での安全

区分：I－④

～地域・社会で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動するとともに、安全・安心なまちづくりを目指して、夏休みに向けて～

①Q：1人で出かけると危険箇所はどこでしょう？

- ・1人で出かける場所として危険な場所はどこか想像してみよう。
- ・繁華街など1人では危険だなと感じる場所を家族と話してみよう。

《例》

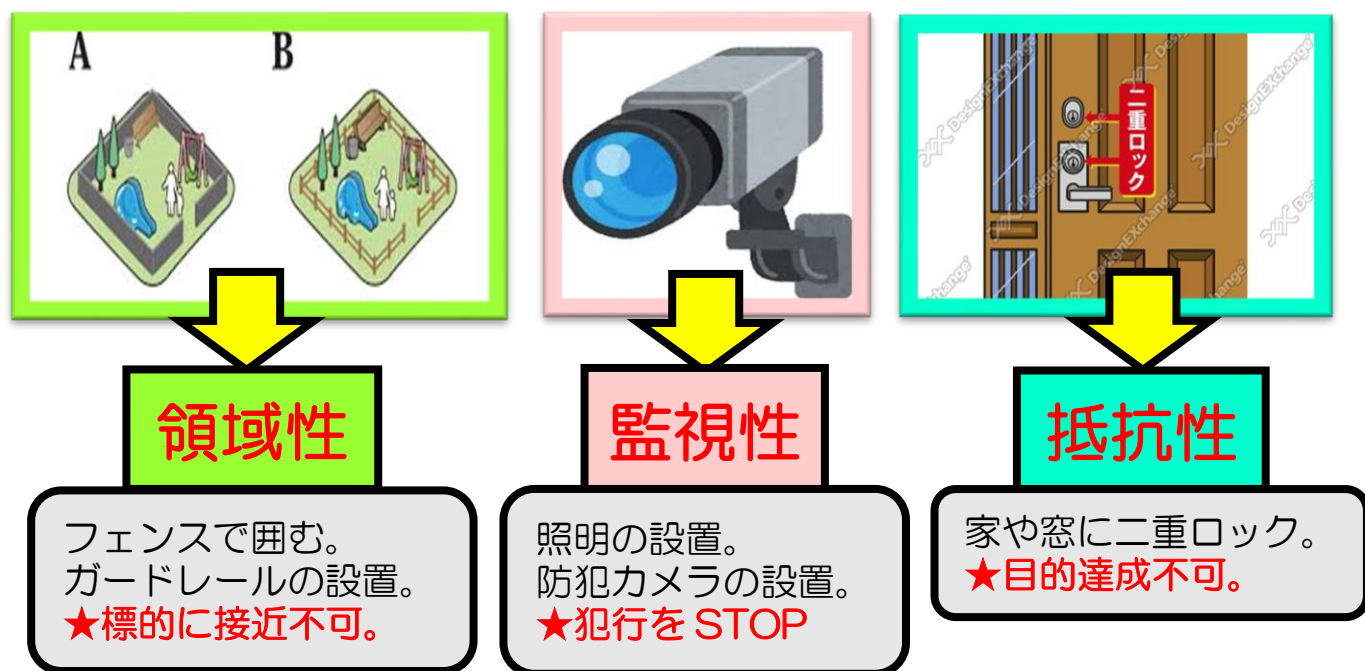


②犯罪の起こりやすい場所とは？

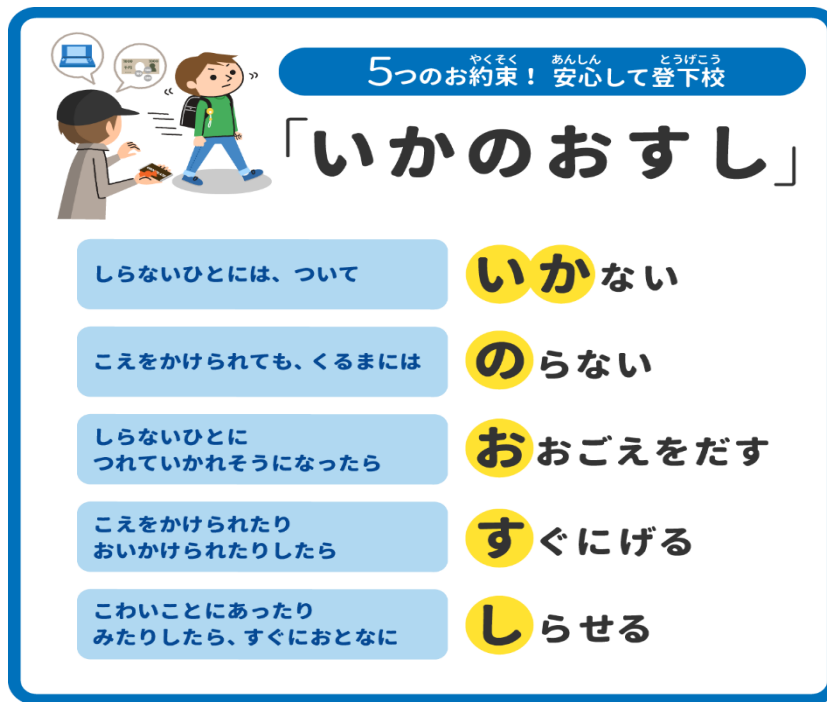
- ・人通りの少ない道や街路灯の少ない場所など「入りやすく、見えにくい場所」が危険です。出かけた場所や通学路や家の周辺でそのような場所があったら気をつけてください。

【犯罪被害の環境要因とその対策】

○犯罪を防ぐための3要素



③いかのおすし 【犯罪被害の環境要因とその対策】



資料引用：alsok

- ・危険を感じたらすぐに助けを呼びましょう。
- ・知らない大人に誘われたら、その場から離れましょう。

④子供110番の家



資料引用：大東京防犯ネットワーク

- ・通学路でこのようなステッカーがある場所を探してみましょう。
- ⑤夜間の外出は、犯罪に巻き込まれる可能性があります。夜間の外出は出きるだけ控え、やむを得ず出かける時は保護者同伴で出かけるようにしましょう。
- ⑥もし事件や事故にあったら・・・
- ・その場で済ませようとせず、必ず保護者、警察や学校に連絡してください。
 - ・おかしいな、変だなと思ったら近くの大人やお店の人に助けを求めましょう。



⑦地域の犯罪防止活動を知り、自分にできることを考え実行しましょう。

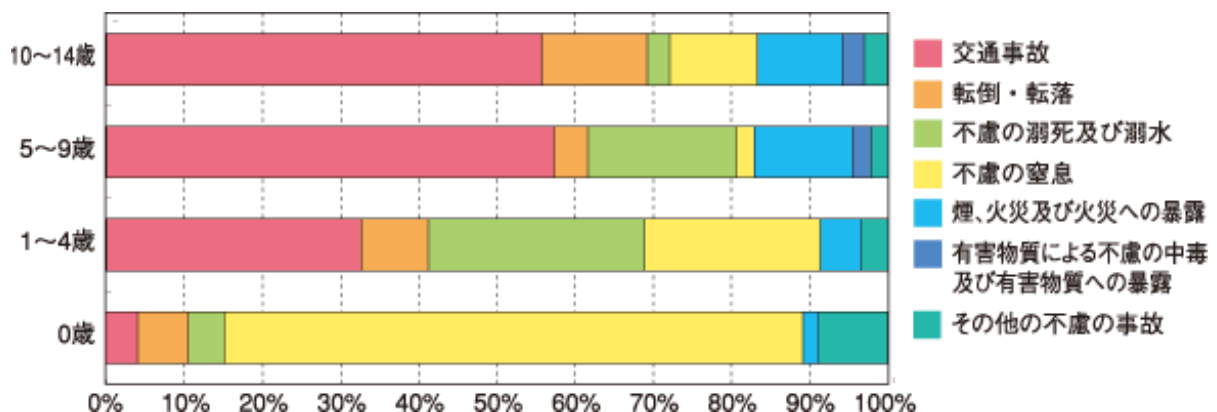


資料引用：調布市ホームページより

⑧山・海・川に行くときに注意することを確認しましょう。



・不慮の事故による年代別での死亡原因をみると中学生の時期は交通事故がもっとも多いです。事故防止の具体策を考えるとともに家の中での注意や工夫も必要です。



資料引用：あいち小児医療センター